

平成27年度特別支援学校教員資格認定試験問題（第2次）

自立活動に関する科目（Ⅱ）

（自立活動）－ 視覚障害教育

（問題1～問題6 全6問）

時間 9：30～11：10（100分）

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 問題冊子は表紙を除いて2ページです。
- 3 解答用紙6枚・下書き用紙2枚には、解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、記入またはマークしてください。
 - (1)種別欄
所定の科目名のマーク欄にマークしてください。
 - (2)受験番号欄
受験番号を記入してください。
 - (3)氏名欄
氏名を記入してください。
- 4 解答は、問題と同じ番号の解答用紙に記入してください。
※「問題1」の解答は、【問題1】と記された解答用紙に記入する。
解答用紙の表面に書ききれない場合は、裏面に記入してください。
なお、筆記用具はHB黒鉛筆を使用してください。
- 5 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページ落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 6 監督者の「やめ」の合図があったら、解答を直ちにやめ、解答用紙を上から問題1→2→3→4→5→6→下書き用紙の順に並べ、回収されるまで、着席したまま待っていてください。
- 7 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

問題 1

身体像 (body image) や位置・方向などの基礎的空間概念の発達が、盲児の日常生活動作能力とどのように関連しているか、説明しなさい。

問題 2

強度近視においては、適切な屈折矯正によっても低視力等の視覚障害を呈する。その理由を説明し、教育上の配慮事項を記述しなさい。

問題 3

小学校弱視特別支援学級 (単一障害) の教育課程編成上の留意点について、弱視特別支援学級の役割を踏まえながら述べなさい。

問題 4

視覚障害教育で用いられる「触察」という用語は、触覚から得られる情報を基に手や指先を動かし、それぞれの位置関係や軌跡、その時の触感などを総合的に組み合わせて対象物を理解しようとする観察と説明することができる。この点を踏まえて、初期的な触察の指導における上手な触らせ方と指導上の配慮事項について述べなさい。

問題 5

視覚障害者の歩行指導について、次ぎの問いに答えなさい。

問1 安全で能率的な単独歩行ができるようになるためには、「思いがけない場面や状況にとっさに対応できる力」が必要である。この力を獲得させるための指導上の配慮について述べなさい。

問2 次の二つの場面に遭遇した時の対応をそれぞれ述べなさい。

- ① 横断歩道を歩行中、手引き (介添え) の方法を知らない人に腕を引っ張られた場合
- ② 電車で下校中、うたた寝をしたために一駅乗り過ごした場合

問題6

見る意欲の低い弱視児に対して，見る意欲を高める指導をしたい。

- 問1 見る意欲の低いことの理由には，どのようなことが考えられるか。簡潔に述べなさい。
- 問2 見る意欲を高める指導について，具体的な指導内容とその指導のねらいを述べなさい。また，その指導を行う際の配慮事項を二つ挙げなさい。